

參考資料

参考1 ビジョン策定までの流れ

本ビジョンは、策定の各段階で「懇話会」での意見や助言等を踏まえ、策定作業を進めました。

令和2 (2020) 年度	7月	上			
		中			
		下			
	8月	上	3日 第1回懇話会		現状把握 課題整理
		中			
		下	21日 第1回都市と交通ワークショップ		
	9月	上			現状把握 課題整理
		中	11日 第2回都市と交通ワークショップ 15日 拡大BKC地域連携情報共有ミーティング		
		下			
	10月	上	2日 第3回都市と交通ワークショップ 6日 第2回懇話会		コンセプト等 の整理
		中			
		下			
	11月	上			コンセプト等 の整理
		中			
		下	25日 第3回懇話会		
12月	上		ビジョン素案		
	中				
	下				
1月	上		ビジョン素案		
	中	20日 第4回懇話会			
	下				
2月	上		中間報告		
	中				
	下				
3月	上		中間報告		
	中				
	下	23日 第5回懇話会			
令和3 (2021) 年度		パブリックコメントの実施	ビジョンの策定		

1)南草津エリアまちづくり推進懇話会

①開催経過

回	開催日時・場所	議題
第1回	令和 2(2020)年 8 月 3 日(月) 15:00～17:00 【アーバンデザインセンター・びわこ・くさつ】	(1)南草津エリアまちづくり推進ビジョン(南草津ビジョン)策定方針について (2)南草津エリアの現況と課題について
第2回	令和 2(2020)年 10 月 6 日(火) 14:30～16:30 【フェリエ南草津 5 階 市民交流プラザ大会議室】	(1)南草津エリアの課題について (2)基本方針(案)およびゾーニング(案)について
第3回	令和 2(2020)年 11 月 25 日(火) 14:30～16:30 【フェリエ南草津 5 階 市民交流プラザ大会議室】	(1)南草津エリアのコンセプト案について (2)施策(案)について
第4回	令和 3(2021)年 1 月 20 日(水) 14:30～16:00 【フェリエ南草津 5 階 市民交流プラザ大会議室】	(1)南草津エリアまちづくり推進ビジョン(南草津ビジョン)素案について
第5回	令和 3(2021)年 3 月 23 日(火) 14:30～16:00 【フェリエ南草津 5 階 市民交流プラザ大会議室】	(1)南草津エリアまちづくり推進ビジョン(南草津ビジョン)パブリックコメント案について



②委員名簿

区 分	所 属	氏 名
住民代表	遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議副会長	石垣 雅野
	矢倉学区未来のまち協議会副会長	梅村 進
	南笠東学区まちづくり協議会理事	棚橋 幸男(副座長)
	老上学区まちづくり協議会会長	田村 勝美
	老上西学区まちづくり協議会副会長	橋本 光夫
	志津南学区まちづくり協議会顧問	花澤 仁左エ門
学識経験者	滋賀医科大学公衆衛生看護学講座教授	伊藤 美樹子
	立命館大学工学部教授	岡井 有佳
	立命館大学工学部教授・キャンパス計画室副室長 (アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業副センター長)	武田 史朗(座長)
民間事業者	ニプロ株式会社ニプロ・ライフサイエンスサイト 管理部部長	足立 秀治
	パナソニック株式会社アプライアンス社人事・総務センター総務部総務一課課長	有村 敬三
	西日本旅客鉄道株式会社京都支社地域共生室 室長	野口 明
公募委員	公募	笠井 真弓
	公募	新谷 彩
	公募	長谷部 尚孝

(区分別、氏名五十音順)

2)パブリックコメント

南草津エリアまちづくり推進ビジョン(南草津ビジョン)案について、広く意見募集を行いました。

○実施期間 : 令和 3(2021)年 7 月 10 日～令和 3(2021)年 8 月 10 日

○提出者数 : 1 人

○意見総数 : 3 件

第
1
章

第
2
章

第
3
章

第
4
章

第
5
章

参
考
資
料

参考 2 社会情勢の変化

1) 全国的な少子高齢化・人口減少の進展

- 少子高齢化により日本の総人口は平成20(2008)年をピークに減少、令和47(2065)年には約8,808万人にまで減少する見込み
- 平成30(2018)年における全国の空き家数849万戸(30年で倍増)、空き地面積1,554km²(5年で約28%増加)
 - ⇒南草津エリアでは人口は増加しているものの高齢化率が増加
 - ⇒高齢化が進む住宅地や立命館大学の一部移転における空き家増加の可能性

2) 防災意識の高まり

- 大規模地震、ゲリラ豪雨による水害等、異常気象に伴う災害の多発により、国民の防災意識の高まり
 - ⇒広域防災拠点の検討や河川の整備促進、避難体制の向上等の地域防災の強化

3) 超スマート社会(Society5.0)への変革、持続可能な開発目標(SDGs)の推進

- IoT を活用し、必要なモノ、サービスを必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供できる仕組みを構築し、多様化・複雑化するニーズへの対応を可能とする社会への変革
- 平成 27(2015)年の COP21 にて採用された温室効果ガスの排出削減を目指した取組や、同年の国連サミットにて採択された持続可能な開発目標(SDGs)に基づき、国内でも官民による取組が進められている。
 - ⇒大学・企業の立地集積を活かした産官学連携によるIoT の活用や SDGs の取組

4) 新たなモビリティサービスの推進

- IoT 等の活用によるモビリティをシームレスにつなぐ移動サービスとして、交通結節点整備等のまちづくりと連携する MaaS 等の取組
 - ⇒南草津エリアの渋滞対策、高齢者や学生等の交通サービスの充実と利用拡大

5) 地域や民間が主体の取組の推進

- 地域主体によるエリアマネジメント等の取組の展開
- 民間ノウハウ等を活用したPPP/PFI手法の導入
 - ⇒小学校区ごとの地域まちづくりセンターを中心とした取組の展開
 - ⇒大学、企業等と地域の交流と人材・ノウハウの活用

6) アフターコロナを見据えた環境形成

- 新型コロナウイルスへの対応として、ICT を活用した働き方を含める新しいライフスタイルが模索されるとともに、それらの対応に適した都市空間の環境形成が課題
 - ⇒アフターコロナを見据えた働き方・学び方の模索と、それらに適した駅前等の都市空間の環境形成

参考3 南草津エリアの現状

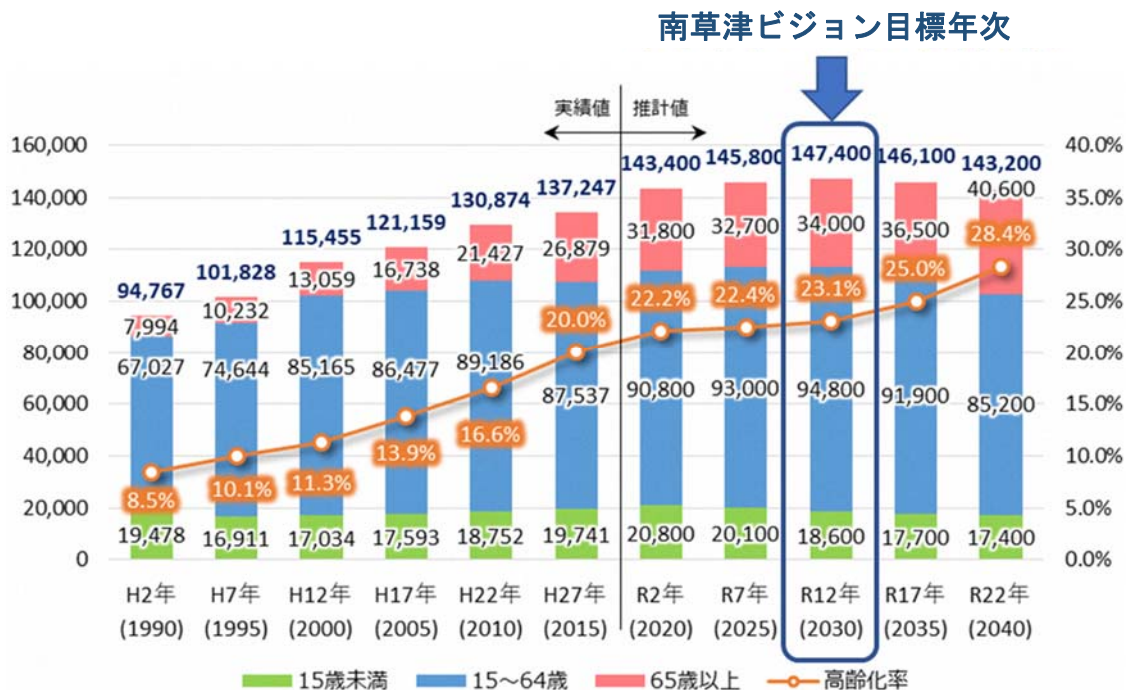
1)人口動向

①人口の状況、見通し

- 全国的に人口が減少傾向を示すなか、草津市および南草津エリアの総人口は一貫して増加してきた。
- 草津市の人口は、令和 12(2030)年の 147,400 人をピークに減少に転じるが、南草津エリアにおいては、平成 27(2015)年の 59,481 人から令和 22(2040)年の 25 年で約 6,000 人増加し 65,400 人程度になることが見込まれている。
- 学区別の人口は、老上西学区は微増であるも全学区において増加する見込みであり、特に老上学区では南草津プラムタウンの整備等により約 3,000 人の増加が見込まれている。

②高齢化の状況、見通し

- 平成 27(2015)年の南草津エリアの高齢化率は 17.1%(草津市全体 20.0%、全国平均 26.6%)となっている。
- 令和 22(2040)年には 24.3%に増加することが見込まれている。
- 学区別の高齢化率は、全ての学区において増加が見込まれている。



※実績値は国勢調査、推計値は草津市推計
 実測値について、年齢不詳人口を含む合計値であるため、3区分内訳の合計と一致しない

図 参考-1 草津市の人口・世帯の推移

表 参考-1 平成 27(2015)年人口

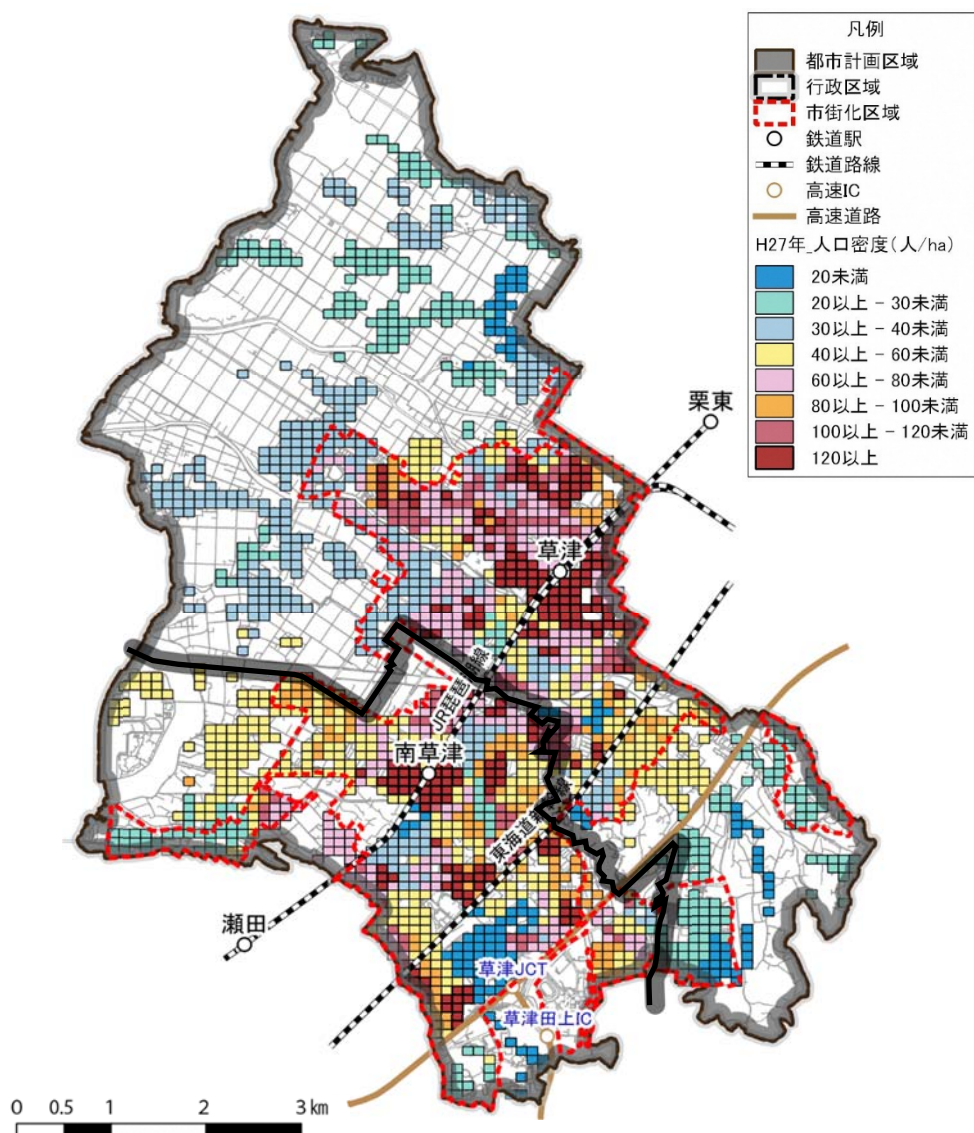
学区	人口	高齢化率
志津南	6,344 人	17.3%
矢倉	10,105 人	20.9%
玉川	15,006 人	13.6%
南笠東	9,936 人	14.0%
老上	9,472 人	15.2%
老上西	8,618 人	24.5%
南草津エリア計	59,481 人	17.1%

表 参考-2 令和 22(2040)年人口推計

学区	人口	高齢化率
志津南	7,067 人	24.4%
矢倉	10,937 人	26.5%
玉川	15,789 人	22.1%
南笠東	10,578 人	23.3%
老上	12,404 人	23.5%
老上西	8,648 人	28.0%
南草津エリア計	65,423 人	24.3%

③人口の分布

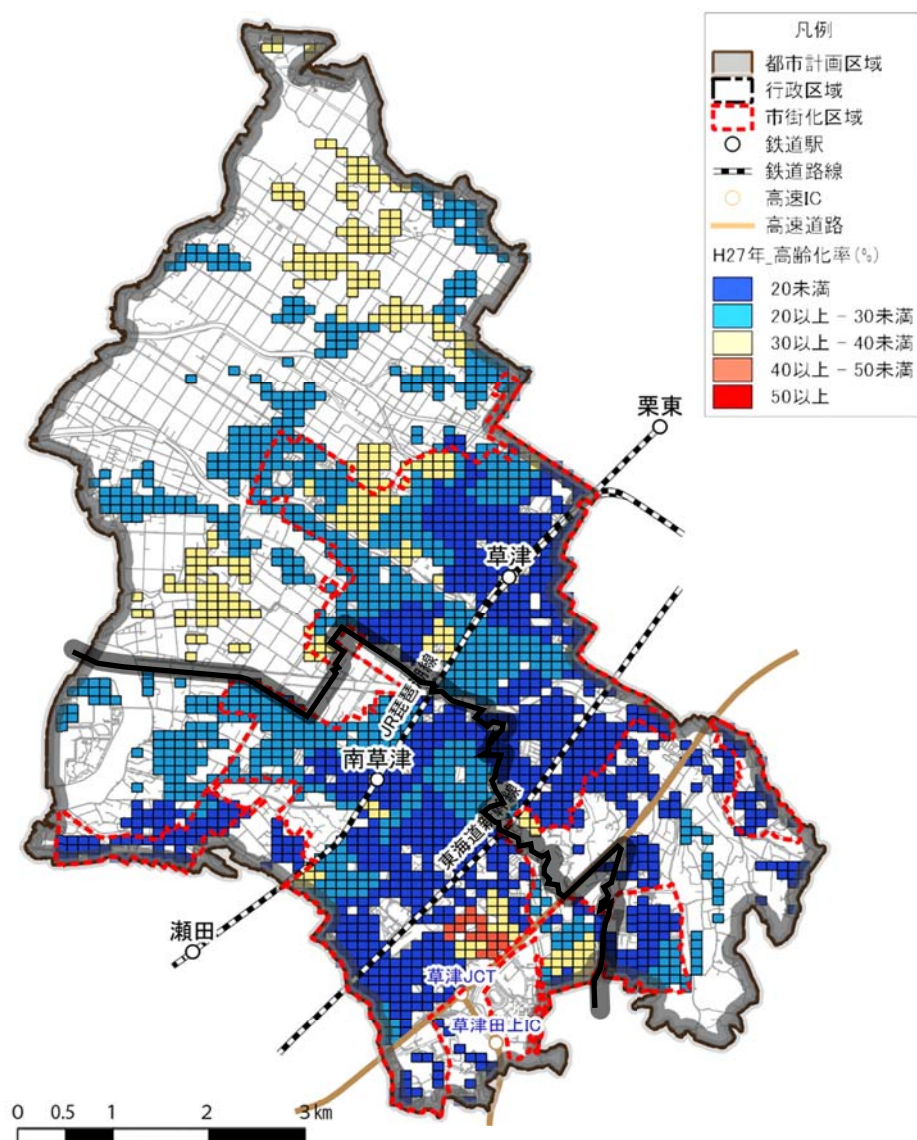
○ 人口密度 40 人/ha 以上の人口集中地区は、市街化区域における商業施設、工場、公共公益施設を除くほぼ全てと老上西学区の集落部に分布しており、JR 南草津駅周辺や住宅団地が分布する地域の人口密度が特に高くなっている。



※国勢調査のメッシュデータをもとに算出（高齢化率は年齢不詳含まず）

図 参考-2 平成 27(2015)年人口密度

- 南草津エリアの高齢化率は20%前後の地域が多いが、比較的早期に整備された丘陵住宅団地(桜ヶ丘、若草)の高齢化率が30~50%と高くなっている。



※国勢調査のメッシュデータをもとに算出（高齢化率は年齢不詳含まず）

図 参考-3 平成 27(2015)年高齢化率

④流入・流出人口

- 平成 27(2015)年国勢調査によると、草津市における流入人口は 46,283 人、流出人口は 36,736 人で約1万人の流入超過となっている。

⑤大学生数

- 立命館大学びわこ・くさつキャンパスに通う大学生は約 15,000 人となっている。
- そのうち約 7,300 人(約 49%)が草津市内に居住している。

2) 土地利用

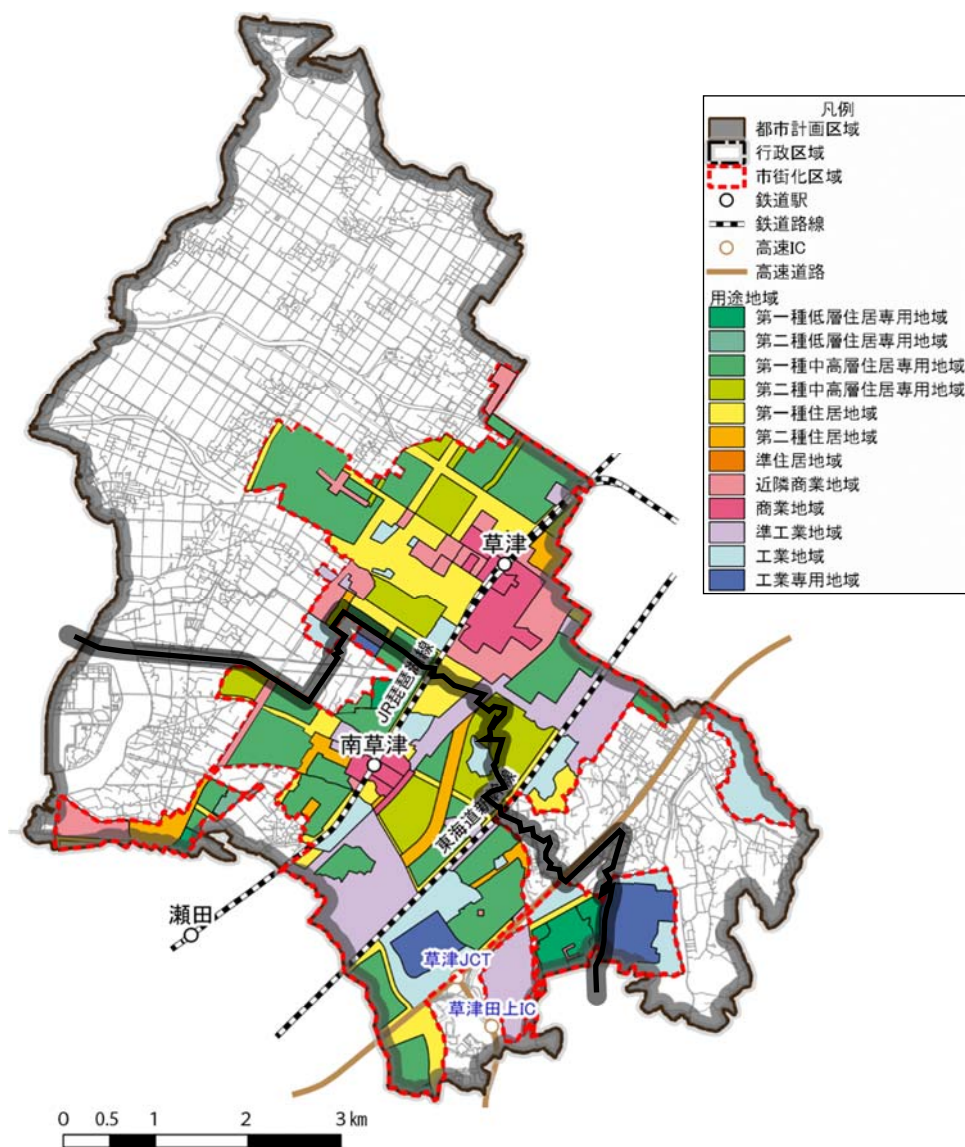
① 区域区分、用途地域

- 平成 30 年度都市計画基礎調査によると、市街化区域面積は 963ha(南草津エリア全体の 62.1%)となっている。
- JR 南草津駅周辺や幹線道路沿道は商業系、その周辺を工業系および住居系の用地地域が分布している。

表 参考-3 平成 30(2018)年区域区分

	市街化区域	市街化調整区域
志津南	101ha(68.2%)	47ha(31.8%)
矢倉	154ha(87.0%)	23ha(13.0%)
玉川	314ha(86.3%)	50ha(13.7%)
南笠東	175ha(82.5%)	37ha(17.5%)
老上	122ha(58.4%)	87ha(41.6%)
老上西	97ha(22.0%)	344ha(78.0%)
南草津 エリア計	963ha(62.1%)	588ha(37.9%)

※都市計画基礎調査 平成 30(2018)年



※令和 2(2020)年度末時点

図 参考-4 用途地域図